

学びの灯

ようこそ、広島都市学園大学 子ども教育学部へ

子ども教育学部には、様々な研究をされている先生方がいらっしゃいます。

このページでは、毎月、一人一人の先生方の思いや考え方などを記していただき、読んだ皆さんの心や頭に「学びの灯」をともします。

一つ一つの「灯」は、いくつか集まると、きっと大きな明るさとなり、皆さんの未来を明るく照らすものとなるでしょう。

また、ある「灯」は皆さんの拠り所となって、どんなときであっても、希望と温かさを保ち続けてくれるでしょう。

さらに、皆さんが「新しい灯」をともし、多くの人々の未来を明るく照らすことに役立つことでしょう。

さあ、今月は、どんな灯でしょうか？



「輝けるステージを！」

子ども教育学部 「初等音楽」等担当教員 須崎朝子

私は本学で音楽を担当していることもあり、前期の授業では学生達と様々なステージを作り上げてきました。2年生とは、学内のこどもケアセンター「い〜ぐる」を利用している親子を対象とした「サマーコンサート」を企画、実施しました。また、1年生の「ピアノ技法」という授業では、中間、期末の2回の試験を公開コンサートという形で行いました。日々努力してきた成果を人前で表現する機会を持てたことは、学生達自身の経験になったことはもちろんですが、教員である私自身、大学での教育の実践を振り返る良い機会となりました。

ステージでは、それまでやってきたその人の姿勢や行動が、全て映し出されます。他者に向けて何かを表現することは、一回りも二回りも自己を成長させる契機となるでしょう。出来れば、自分が苦手とすること、うまく出来ないと思っていることから目も背けず、少しずつ克服しようと試みて欲しいと思います。真摯に物事に向き合う経験は、きっと自分を次のステージへと導いてくれることでしょう。

2年生のサマーコンサートでは、こどもケアセンターに来る親子の方々をお客さんに迎えました。そこでは、来てくれた小さなお客さんを楽しませようと、精一杯の笑顔で臨機応変に対応する学生達の姿を見ることができました。1年生のピアノコンサートでは、緊張のあまり手が震えている人もいましたが、誰一人途中で投げ出すことなく弾き終え、仲間の演奏に惜しみない拍手を送りました。

「さあ、次なるステージは？」

一人一人が輝ける場は、学生生活の至るところに潜んでいます。長いようで短い4年間の大学生活。失敗を恐れることなく、前向きにチャレンジする気持ちを忘れないください。そして、大学生活が充実したものとなるよう、また新たなステージを共に作り上げていきましょう！